

石 狩 市 教 育 委 員 会

《基礎データ》

**いしかりの教育は
『こんにちは』から始めます。**



■石狩市教育委員会■

※上の絵は手話で「こんにちは」
を表しています。

令和7年6月

【目 次】

1	令和7年度 市内小中学校の児童生徒数・学級数	P 1
2	令和6年度 教育支援委員会の協議状況	P 2
3	令和6年度 学校給食費収納状況	P 3
4	令和6年度 社会教育施設等の利用状況	P 4～P 6

1 令和7年度 市内小中学校児童生徒数・学級数

令和7年5月1日現在

学 校 名	児 童 生 徒 数						上:特別支 援:下:普通 学級	総合計	学級数 上:特別支 援:下:普通 学級
	1年	2年	3年	4年	5年	6年			
石狩八幡小学校	(1) 12	(1) 7	(1) 13	(4) 11	(3) 16	(3) 15	13 74	87	2 6
花川小学校	(1) ② 43	(3) ② 37	(1) 35	(1) ② 37	(1) ② 39	(3) ② 41	10 232	242	3 11
生振小学校	() 14	() 9	() 15	() 11	() 14	() 11	0 74	74	0 6
南線小学校	(7) ④ 110	(10) ⑤ 147	(9) ④ 127	(4) ⑥ 177	(5) ⑤ 143	(3) ⑤ 154	38 858	896	7 29
花川南小学校	(1) ③ 87	(8) ③ 80	(7) ③ 95	(6) ③ 92	() ③ 86	(3) ③ 94	25 534	559	4 18
紅南小学校	(1) ② 63	(7) ② 59	(3) ② 55	(5) ② 59	(4) ② 49	(3) ② 54	23 339	362	4 12
緑苑台小学校	() ② 44	(3) ② 49	() ② 42	(2) ② 48	(1) ② 54	(2) ② 45	8 282	290	2 12
双葉小学校	() 34	(1) ② 45	(3) 34	(3) ② 47	(3) ② 42	(1) 32	11 234	245	2 9
浜益小学校	(1) 3	(2) 4	(1) 3	() 4	(1) 4	(2) 4	7 22	29	3 3
厚田学園 (前期課程)	() 7	(2) 3	() 2	(1) 6	() 5	() 4	3 27	30	1 4
小学校 計	(12) 417	(37) 440	(25) 421	(26) 492	(18) 452	(20) 454	138 2,676	2,814	28 110
令和6年度計	(26) 443	(24) 424	(19) 491	(18) 452	(21) 455	(18) 483	126 2,748	2,874	26 112
増 減	(▲ 14) ▲ 26	(13) 16	(6) ▲ 70	(8) 40	(▲ 3) ▲ 3	(2) ▲ 29	12 ▲ 72	▲ 60	2 ▲ 2

学 校 名	1年	2年	3年	上:特別支 援:下:普通 学級	総合計	学級数
石狩中学校	(2) 10	(1) 16	(3) 19	6 45	51	2 3
花川中学校	(2) ④ 138	(8) ④ 133	(1) ③ 118	11 389	400	2 11
花川南中学校	(4) ③ 92	(1) ③ 91	(1) ③ 104	6 287	293	2 9
花川北中学校	(3) ③ 74	(10) ② 76	(4) ② 77	17 227	244	4 7
樽川中学校	(8) ⑤ 157	(4) ④ 130	(9) ⑤ 164	21 451	472	4 14
浜益中学校	() 4	(2) 3	() 4	2 11	13	2 3
厚田学園 (後期課程)	() 2	(1) 5	() 4	1 11	12	1 3
中学校 計	(19) 477	(27) 454	(18) 490	64 1,421	1,485	17 50
令和6年度計	(25) 462	(17) 492	(19) 480	61 1,434	1,495	18 50
増 減	(▲ 6) 15	(10) ▲ 38	(▲ 1) 10	3 ▲ 13	▲ 10	▲ 1 0

・()内の数字は特別支援学級の児童生徒数(外数)

・○内の数字は2学級以上ある場合の普通学級数

・反転表示は複式学級の編制

・小学校は35人学級

・太枠表示は北海道の少人数学級実践研究事業の対象 【学校名及び学年】花川北中学校1年、樽川中学校1年

・浜益中学校2年及び厚田学園(後期課程)2年は基礎定数を活用した学級編制の弾力化により単式学級

2 令和6年度 教育支援委員会の協議状況

■教育支援委員会で協議した児童生徒数

	令和6年度	令和5年度	増減
新就学児童（令和7年度に就学する児童）	57 名	72 名	△ 15
（通常学級	42 名）	42	
（特別支援学級	12 名）	26	
（特別支援学校	3 名）	4	
在籍する児童生徒（令和6年度に在籍する児童・生徒）	52 名	65 名	△ 13
（通常学級 ⇒ 特別支援学級	小 22 名）	18	
（ " ⇒ "	中 2 名）	2	
（ " ⇒ 特別支援学校	小 2 名）	0	
（ " ⇒ "	中 1 名）	0	
（特別支援学級 ⇒ 通常学級	小 1 名）	1	
（ " ⇒ "	中 0 名）	2	
（ " ⇒ 特別支援学級（転入）	小 0 名）	5	
（ " ⇒ "（転入）	中 1 名）	0	
（ " ⇒ 種別変更	小 0 名）	1	
（ " ⇒ 種別変更	中 0 名）	0	
（ " ⇒ 特別支援学校	小 0 名）	3	
（ " ⇒ 特別支援学校	中 0 名）	0	
（特別支援学校 ⇒ 特別支援学級	小 1 名）	1	
（ " ⇒ 特別支援学級	中 1 名）	0	
（小6 通常学級 ⇒ 中1 特別支援学級	3 名）	5	
（小6 特別支援学級 ⇒ 中1 通常学級	1 名）	5	
（ " ⇒ 中1 特別支援学級	17 名）	21	
（ " ⇒ 中1 特別支援学校	0 名）	1	

●担当課（教育支援課）の見解

・教育支援委員会では、支援の必要な児童生徒の就学先や支援の内容等について、専門的な立場から協議し、それぞれに応じた「学びの場」を総合的に判断している。この結果を基に、≪児童生徒本人や保護者の意見を最大限尊重し、教育的ニーズと必要な支援についての合意形成を行うこと≫を原則として、市教委が就学先を決定している。

・協議内容別では、（令和7年度の）「新就学児童」の就学先について、57名の協議を行った。前年度比で15名減少、新就学児童全体の13.3%（前年度：16.2%）となっており、相談対象児童数は微減となっている。引き続き、学校や子ども発達支援センター、保健師と連携し対象児童の把握に努めていく。

・「在籍する児童生徒」については、52名の協議を行い、前年度比で13名減少、児童生徒の発達の程度や適応の状況、学校の環境等を勘案しながら、柔軟に「学びの場」の変更ができる仕組みづくりに努めている。

3 令和6年度 学校給食費収納状況

(単位：円、％)

区 分	調 定 額	収納済額	還付未済額 (左記の内数)	不納欠損額	収納未済額	令和6年度 収納率	令和5年度 収納率
現 年 度 分	251,982,390	246,557,428	0	0	5,424,962	97.8	97.7
滞納繰越分	28,820,257	2,676,700	0	587,797	25,555,760	9.3	10.2
計	280,802,647	249,234,128	0	587,797	30,980,722	88.8	89.8

4 令和6年度 社会教育施設等の利用状況

■カルチャーセンター

(単位：人、件、%)

施設名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度合計	前年度比
紅 南 小	人数	572	349	547	434	331	454	3,613	569	262	185	281	853	8,450	4,821	75.3
	件数	38	36	35	35	29	36	53	40	25	17	30	62	436	454	▲ 4.0

■公民館

(単位：人、件、%)

施設名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度合計	前年度比
本館（学び交流センター）	人数	3,008	3,015	3,355	3,321	2,437	3,021	3,367	3,568	2,641	2,677	2,741	3,532	36,683	37,542	▲ 2.3
	件数	307	318	322	305	265	319	356	341	301	303	325	362	3,824	3,765	1.6
美 登 位 分 館	人数	24	33	33	15	33	60	22	40	97	46	118	80	601	635	▲ 5.4
	件数	2	2	2	1	2	3	2	3	8	3	15	7	50	51	▲ 2.0
合 計	人数	3,032	3,048	3,388	3,336	2,470	3,081	3,389	3,608	2,738	2,723	2,859	3,612	37,284	38,177	▲ 2.3
	件数	309	320	324	306	267	322	358	344	309	306	340	369	3,874	3,816	1.5

●担当課(社会教育課・公民館)の見解

・カルチャーセンターの利用者数は、学習発表会で使用した紅南小児童数がカウントされているため、昨年より大幅に増加した。

4 令和6年度 社会教育施設等の利用状況

■研修センター等

(単位：人、件、%)

施設名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度合計	前年度比
高岡ふれあい 研修センター	人数	97	74	73	41	400	36	129	50	120	49	54	66	1,189	1,433	▲ 17.0
	件数	6	6	3	2	10	2	3	5	15	3	7	7	69	84	▲ 17.9
北生振ふれあい 研修センター	人数	85	0	47	123	83	51	18	65	46	50	13	65	646	745	▲ 13.3
	件数	8	0	7	14	7	3	4	8	5	2	1	5	64	81	▲ 21.0
五の沢ふれあい 研修センター	人数	8	20	24	4	18	27	8	0	0	35	10	18	172	126	36.5
	件数	2	1	5	1	3	3	1	0	0	5	2	4	27	19	42.1
生振ふれあい 研修センター	人数	165	75	46	33	81	73	42	61	31	7	63	133	810	1,037	▲ 21.9
	件数	17	9	6	4	11	11	7	9	2	1	8	15	100	107	▲ 6.5
合 計	人数	355	169	190	201	582	187	197	176	197	141	140	282	2,817	3,341	▲ 15.7
	件数	33	16	21	21	31	19	15	22	22	11	18	31	260	291	▲ 10.7
美登位 創作の家	人数	92	312	253	328	210	321	228	260	100	107	121	232	2,564	2,793	▲ 8.2

●担当課(社会教育課)の見解

・ふれあい研修センターはほとんどが地元利用であり、増減は町内会活動の影響と推測される。

■資料館等

(単位：人、%)

施設名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度合計	前年度比
いしかり 砂丘の風資料館	人数	134	207	307	129	215	693	346	132	39	44	44	73	2,363	2,057	14.9
はまます 郷土資料館	人数	0	89	135	162	166	227	135	0	0	0	0	0	914	716	27.7

●担当課(文化財課)の見解

・コロナ禍の収束に伴い、来館者が増加したと推測される。

4 令和6年度 社会教育施設等の利用状況

■市民図書館

(単位：日、人、点、%)

施設名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度合計	前年度比
本 館	日数	24	25	25	25	27	23	25	25	24	19	21	25	288	290	▲ 0. 7
	貸出 点数	32, 993	34, 878	35, 310	35, 942	38, 025	33, 113	34, 769	35, 233	31, 337	27, 824	30, 559	36, 602	406, 585	427, 125	▲ 4. 8
花 川 南 分 館	日数	24	25	25	25	26	23	25	25	24	23	21	25	291	293	▲ 0. 7
	貸出 点数	4, 621	4, 911	4, 749	4, 630	4, 971	4, 724	4, 587	5, 084	4, 327	4, 444	4, 372	5, 221	56, 641	56, 156	0. 9
八 幡 分 館	日数	24	25	25	25	26	23	25	25	24	23	21	25	291	293	▲ 0. 7
	貸出 点数	842	803	753	807	817	850	999	886	903	817	795	1, 114	10, 386	10, 706	▲ 3. 0
浜 益 分 館	日数	24	25	25	25	26	23	25	25	24	23	21	25	291	293	▲ 0. 7
	貸出 点数	212	227	187	187	200	149	228	210	180	173	106	184	2, 243	2, 308	▲ 2. 8
あ い か ぜ と し ょ か ん	日数	24	25	25	25	26	23	25	25	24	23	21	25	291	292	▲ 0. 3
	貸出 点数	370	420	384	452	199	254	372	357	368	248	311	299	4, 034	4, 819	▲ 16. 3
全 館	貸出数	39, 038	41, 239	41, 383	42, 018	44, 212	39, 090	40, 955	41, 770	37, 115	33, 506	36, 143	43, 420	479, 889	501, 114	▲ 4. 2
【参考】 本館の入館者数		13, 703	14, 753	15, 887	15, 842	23, 870	16, 895	18, 799	17, 016	13, 249	12, 793	15, 123	14, 548	192, 478	175, 737	9. 5

※本館の貸出点数は、宅配貸出及びばばらーとの件数を含む

★市民図書館 その他の指標

区 分		単位	R6	R5	増減	前年度比
①蔵書点数（全館）		点	336, 364	337, 711	▲ 1, 347	▲ 0. 4
	うち本館蔵書点数	点	301, 361	303, 268	▲ 1, 907	▲ 0. 6
②利用登録者数		人	16, 213	13, 770	2, 443	17. 7
	うち市内に居住する利用登録者の数	人	8, 265	7, 071	1, 194	16. 9
③レファレンスサービス件数		件	13, 734	14, 583	▲ 849	▲ 5. 8
	うち所蔵調査の件数	件	13, 486	14, 379	▲ 893	▲ 6. 2
	うち事項調査の件数	件	248	204	44	21. 6

※所蔵調査：利用者の求める資料等のタイトルが明確であり、所蔵の有無を確認する調査

※事項調査：利用者の求める資料等のタイトルが不明なものの調査全般であり、時間をかけて調べる必要のある調査

担当課（市民図書館の見解）

●開館日数：特に特記要素は無く、通常の日程どおり。

●貸出点数・本館の入館者数：南分館を除き各館の貸出点数が減少している。全体的な要因として読書人口減の影響が大きいのではないかと考える。半面、入館者数が増となった要因は、5年ぶりの図書館まつりの開催、出展ブース数や参加者数の制限を無くした科学の祭典といったイベントの効果が考えられる。

●利用登録者数：数字そのものは大きく増加しているが、これはシステム変更によるデータ保存量の増加を反映し、これまで実施していた3年間未利用だった方のデータ削除を中止したことによる影響であり、実態の反映ではない。貸出点数の動きと同様に、利用登録者数の緩やかな減少は続いていると想定される。

●レファレンスサービス件数：全体件数は前年度より減少したが、内訳的には所蔵調査が下がったのに比べ、事項調査の件数が大きく伸びている。これは図書館として重要な業務の一つであるレファレンスサービスの利便性が市民に定着してきている一方、ネット環境の普及で、単純な資料の有無については、図書館に確認前に自らネット検索で調べる利用者が増えたと考えられる。